

# Cisco Secure Workload ハードウェアでの CIMC ファームウェアのアップグレード

初版：2021 年 10 月 29 日

最終更新：2021 年 11 月 5 日

## このファームウェア アップグレードについて

この Cisco Integrated Management Controller (CIMC) のアップグレード手順は、Cisco Secure Workload バージョン 3.6 以降または Cisco Tetration バージョン 3.4 以降を実行している場合に M4 および M5 ハードウェアでサポートされます。

Cisco Secure Workload/Tetration 物理アプライアンスには、ユニファイドコンピューティングシステム (UCS) CIMC ホスト アップグレードユーティリティ (HUU) の ISO イメージがバンドルされています。Cisco Secure Workload/Tetration の [クラスタステータス (Cluster Status)] ページでファームウェアアップグレードオプションを使用して、物理ベアメタルのインストールを Cisco Secure Workload/Tetration RPM ファイルにバンドルされている HUU ISO イメージに含まれる UCS ファームウェアのバージョンに更新できます。

各 CIMC バージョンの新機能および変更された機能については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-integrated-management-controller/products-release-notes-list.html> から入手可能な該当するリリースノートを参照してください。



### 重要

- CIMC ファームウェアのアップグレードはオプションです。
- 以下の手順は TAC チームから勧められた場合にのみ実行してください。
- アップグレードプロセスには、ベアメタルホストごとに最大 4 時間かかる場合があります。

## ファームウェアのアップグレード手順



- (注) このプロセスおよびドキュメントでは、「アップグレード」と「更新」を同じ意味で使用しています。

## 始める前に

- CIMC をアップグレードする前に Cisco Secure Workload をアップグレードします。
- UCS ファームウェアは一度に 1 つのベアメタルホストでのみ更新できます。
- ファームウェアの更新を開始する前に、すべてのサービスが正常であることを確認します。  
Cisco Secure Workload 3.6.x の場合 : [トラブルシューティング (Troubleshoot) ] > [サービスステータス (Service Status) ] を選択します。  
Cisco Tetration 3.4.x または 3.5.x の場合 : [メンテナンス (Maintenance) ] > [サービスステータス (Service Status) ] を選択します。
- ベアメタルホストでのファームウェアの更新は、ステータスが [アクティブ (Active) ] または [非アクティブ (Inactive) ] で、ベアメタルホストの状態が [初期化 (Initialized) ] または [SKU不一致 (SKU Mismatch) ] でない場合に開始できます。
- ファームウェアの更新を開始するには、[クラスタステータス (Cluster Status) ] ページの [オーケストレータの状態 (Orchestrator State) ] が [アイドル (Idle) ] である必要があります。

## 手順

**ステップ 1** Cisco Secure Workload/Tetration Web インターフェイスで、[クラスタステータス (Cluster Status) ] ページに移動します。

Cisco Secure Workload 3.6.x の場合 : [トラブルシューティング (Troubleshoot) ] > [クラスタステータス (Cluster Status) ] を選択します。

Cisco Tetration 3.4.x または 3.5.x の場合 : [メンテナンス (Maintenance) ] > [クラスタステータス (Service Status) ] を選択します。

**ステップ 2** [アクションの選択 (Select action) ] ドロップダウンメニューから [ファームウェアアップグレード (Firmware upgrade) ] を選択します。

**ステップ 3** 更新するベアメタルホストを選択し、[適用 (Apply) ] をクリックします。

ファームウェアの更新を開始すると、更新を続行できることがインストーラで確認され、必要に応じてベアメタルホストを正常にシャットダウンしてからアップグレードが開始されます。

更新プロセス全体が完了するまでに、M4 ハードウェアの場合は 2 時間以上、M5 ハードウェアの場合は 1 時間以上かかることがあります。

次の動作は一時的なものであり、想定されるものです。

- ファームウェアのアップグレードが開始されると、バックエンドサービスがフェールオーバーしている間、[クラスタステータス (Cluster Status) ] ページに最大 10 分間エラーが表示されることがあります。

- ファームウェアのアップグレード中は、更新中のベアメタルホストについて、[クラスタステータス (Cluster Status)] ページに通常表示されるファームウェアの詳細が表示されません。更新が完了した後、ファームウェアの詳細が再度表示されるまで最大 15 分かかることがあります。
- ファームウェアのアップグレード中は、ノードは [クラスタステータス (Cluster Status)] ページで非アクティブとして表示されます。
- ファームウェアの更新プロセスが開始されると、ベアメタルホストとそのベアメタルホストで実行されているすべての仮想マシンがクラスタ内でアクティブでなくなるため、[サービスステータス (Service Status)] ページに一部のサービスが正常でないとして示される場合があります。

ファームウェアの更新が完了した後、ベアメタルホストがクラスタ内で再びアクティブになるまでにさらに 30 分かかり、すべてのサービスが再び正常になるまでにさらに時間がかかる場合があります。ファームウェアの更新後 2 時間以内にサービスが回復しない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

**ステップ 4** ベアメタルホストの詳細を表示するには、[クラスタステータス (Cluster Status)] ページのリストでベアメタルホストをクリックします。

ファームウェアの更新が開始されたら、[ファームウェアのアップグレードログの表示 (View Firmware Upgrade Logs)] ボタンをクリックして、ファームウェア更新のステータスを表示できます。このログでは、ファームウェア更新の全体的なステータスがリストの一番上に表示されます。このステータスエントリは次のいずれかになります。

- [ファームウェアの更新がトリガーされました (Firmware update has been triggered)] : ファームウェアの更新が要求されましたが、まだ開始されていません。事前チェックが実施されています。
- [Firmware update is running] : ファームウェアの更新が開始されました。ファームウェアの更新がこの状態に達すると、CIMC と HUU で更新が制御され、Cisco Secure Workload クラスタでは CIMC から受信した更新に関するステータス情報が報告されます。
- [Firmware update has timed out] : これは、ファームウェアの更新の一部のプロセスが、更新を完了するために割り当てられた時間を超えたことを示します。ファームウェアの更新プロセス全体では、[Firmware update is running] フェーズに入った後、240 分の時間制限があります。ファームウェアの更新中に、新しいバージョンでレポートすると CIMC が到達不能になることがあります。この到達不能状態のタイムアウトは、ファームウェアの更新が「タイムアウト」と宣言されるまでの 40 分間です。ファームウェアの更新が開始されると、その更新のモニタリングは 120 分後にタイムアウトします。
- [Firmware update has failed with an error] : エラーが発生し、ファームウェアの更新が失敗したことを示します。通常、CIMC では成功または失敗は示されません。そのため、この状態は通常、ファームウェアの更新が実際に実行される前にエラーが発生したことを示しています。
- [Firmware update has finished] : ファームウェアの更新が正常に終了しました。通常、CIMC では成功または失敗は示されないため、[Cluster Status] ページでこれらの詳細が確認でき

るようになった後に、UCS ファームウェアバージョンが更新されているか確認することをお勧めします。これらの詳細が確認できるようになるまで最大 15 分かかることがあります。想定されるバージョンについては、以下の [CIMC バージョン \(4 ページ\)](#) を参照してください。

- 検出されない障害が発生した場合、アップグレードは実行中であるように見えますが、240 分 (4 時間) 後にタイムアウトします。これが発生した場合は、アップグレードを再試行します。再度失敗する場合は、TAC にお問い合わせください。

ステータスビューを更新するには、更新ステータスウィンドウを閉じ、[ファームウェアの更新ログを表示 (View Firmware Upgrade Logs)] ボタンを再度クリックします。

[ファームウェアの更新ログを表示 (View Firmware Upgrade Logs)] ポップアップウィンドウの全体的なステータスの下にある [進行状況の更新 (Update progress)] セクションには、ファームウェア更新の進行状況を示すタイムスタンプ付きのログメッセージが表示されます。これらのログメッセージに [起動ホストが進行中です (Rebooting Host In Progress)] ステータスが表示されると、CIMC で更新が制御され、クラスタがその更新をモニターします。後続のほとんどのログメッセージは CIMC から直接送信され、更新のステータスが変更された場合にのみログメッセージのリストに追加されます。

CIMC で個々のコンポーネント更新の提供が開始されると、[ファームウェアの更新ログの表示 (View Firmware Upgrade Logs)] ポップアップウィンドウの [Update progress (進行状況の更新)] セクションの下に、[コンポーネントの更新の状態 (Component update status)] セクションが表示されます。このセクションでは、ベアメタルホスト上のさまざまな UCS コンポーネントの更新のステータスがすぐに把握できます。

## CIMC バージョン

このドキュメントの手順は、次のバージョンに適用されます。

次の表の CIMC HUU ISO バージョンは、該当する Cisco Secure Workload/Tetration バージョンにバンドルされています。

Cisco Secure Workload/Tetration バージョン	UCS-C220-M4	UCS-C220-M5
3.6	4.1(2b)	4.1(3b)
3.4 および 3.5	4.1(1g)	4.1(1g)

## 古いバージョン

このドキュメントの手順は、次のバージョンには適用されません。これらのバージョンの CIMC をアップグレードするには、Cisco TAC にお問い合わせください。

これらのバージョンは、新規ハードウェアと交換 (RMA) ハードウェアの両方に付属しています。

<b>Cisco Secure Workload/Tetration</b> バージョン	<b>UCS-C220-M4</b>	<b>UCS-C220-M5</b>
<b>3.2 および 3.3</b> (このドキュメントの手順は適用されません。)	2.0(10e)	4.0(1a)
<b>2.2 ~ 3.1</b> (このドキュメントの手順は適用されません。)	2.0(10e)	該当なし



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。